

令和5年度「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム

7月5日(水) 前沢ふれあいセンターを会場に、「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムを開催しました。管内各地域において円滑かつ効果的なコミュニティ・スクールの導入やその取組方策について理解を深めるため、パネルディスカッションと講演を行いました。当日は、小中学校及び県立学校、地域コーディネーターや PTA 役員等の地域住民、行政関係者等、総勢 131 名が参集しました。

【パネルディスカッション】

「地域学校協働活動の充実を目指して
～地域ぐるみで明日の地域を担う子どもを育てる～」

<コーディネーター>

秋田県生涯学習センター 社会教育主事
皆川 雅仁 氏

<パネリスト>

平泉町立平泉小学校 校長 大森 亘 氏
平泉町立長島小学校 校長 瀧野澤 公美 氏
平泉町立平泉中学校 校長 小田島 達哉 氏
平泉町教育委員会事務局
主任兼社会教育主事 安倍 雅人 氏



【講演】

「コミュニティ・スクールが創り出す情景
～2つの取組が教えてくれた学校ガバナンス～」

<講師>

秋田県生涯学習センター 社会教育主事
秋田大学 非常勤講師
元文部科学省 コミュニティ・スクール推進員
皆川 雅仁 氏



【パネルディスカッション】

パネリストの大森校長先生、瀧野澤校長先生、小田島校長先生から、各学校での学校運営協議会の様子と地域学校協働活動の具体的取組について紹介いただきました。

平泉町教育委員会事務局の安倍主任からは、平泉町としてのCS 導入の経緯、各校への伴走的な支援の実際について説明していただきました。

コーディネーターの皆川氏の進行により、パネリスト同士の対話を中心としながら、効果的なCS 導入や地域学校協働活動の充実について学びを深めました。

◆(パネリストから)

- 既存の活動をさらに充実させ、地域ぐるみの活動へつなげていきたい。
- 地域は隣の地域とつながっており、ひいては世界とつながっている。平泉は世界平和をめざした町。平泉町で育ったという軸をしっかりともった子どもに育てほしい。
- 地域とのつながりを双方向にし、支援をいただく活動から、学校と地域が互いに協働する活動にしていきたい。
- 学校運営協議会の場で「どんな生徒に育てたいか」ということについて、委員さんから意見をいただき、議論をしながら進めていきたい。

【講演】

講師の皆川氏からは、効果的なCS 推進のためには、学校と地域が横並びの関係を目指すこと。望ましい関係づくりのために「熟議」を活用することを教えていただきました。

皆川氏の熱意に満ちた語り口と、自身の経験に基づく具体的な内容が、多くの参会者を引き付け、CS に対する深い学びにつながりました。

◆(皆川氏のお話から)

- CS の活性化のためには、既存の取組がベースとなる。
- いっぱいの声を知る、いっぱいを集める、みんなで話し合っ自分たちのシステムで行うことを大切にしたい。
- 学校と地域の目的の共有が重要であり、本音で議論することを当たり前にしていくことを目指したい。

※熟議…多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決・政策形成していくこと。

参加者の主な感想 (一部抜粋)

- ◆ 今の子ども達にとって、地域、学校が一体となって進んでいくことが不可欠であると改めて感じた。
- ◆ 既存の仕組みを生かし、さらに充実させるためにCSを活用していくという考え方が参考になった。
- ◆ 効果的に地域学校協働活動を進めることで、地域や学校に愛着をもち、大切にす人材を育成できると感じた。
- ◆ 地域の方と本音で話し合うことで、学校と地域がよりよい関係になることを確信できた。
- ◆ 学校運営協議会を効果的に進めていくために、「熟議」が、とても大切かつ不可欠だということを学んだ。